

# 第6章 事故等防止に向けた情報発信

## 1 事故等防止に向けた情報発信

当委員会では、再発防止に向けた取組をより広く知って、事故等の防止に役立てていただけるよう、個別の調査報告書に加え各種資料やウェブコンテンツを作成し、ホームページに掲載して情報発信を行っています。また、これらの最新状況等についても、X（旧ツイッター）やメールマガジンを通じてお知らせしています。

### 委員会HP画面



## 2 地方版分析集の発行

当委員会では、各地方事務所が、その管轄区域内で調査した船舶事故に関して、それぞれの担当水域で特色のある海域、船種、事故の種類等のテーマに沿って分析を行い、船舶事故等の防止に関する各種の情報提供を行うため、地方版分析集として発行しています。

(令和7年発行の地方版分析集)

<p>横浜</p>	<p><b>駿河湾&amp;相模湾 ハザードマップから見るプレジャーボート関連事故</b></p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駿河湾と相模湾 プレジャーボート関連事故等発生状況</li> <li>・事故等種別ごとの傾向と事故事例</li> <li>・まとめ</li> </ul>	
-----------	--	--

個々の地方版分析集を読んでいただくと、地方特有の事故事情について知るだけでなく、新たな事故防止のヒントを発見していただけるかもしれません。各地方事務所では、更に内容の充実を図りながら、今後も地方版分析集の発行に取り組んでいきます。

**【地方事務所における分析】**

[https://jtsb.mlit.go.jp/bunseki-kankoubutu/localanalysis/localanalysis\\_new.html](https://jtsb.mlit.go.jp/bunseki-kankoubutu/localanalysis/localanalysis_new.html)

### 3 安全啓発リーフレットの発行等

当委員会では、事故防止等に役立つ情報を簡潔にまとめたリーフレットを発行し、ホームページに掲載するとともに、関係団体を通じて関係者に配布するほか、出前講座（「8 出前講座（講習会等への講師派遣）」120ページ参照）において出席者に配布するなど、積極的な安全啓発・周知活動を通じて、皆様の安全に資する情報を発信しています。

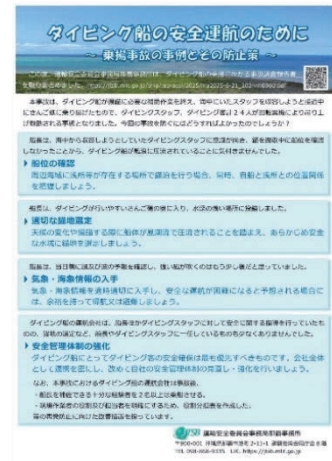
令和7年5月には、線路内で作業を行っていた作業員や列車見張員が列車と接触し、亡くなる触車事故について、同種事故が令和5年と令和6年の2年間で3件と続けて発生したことから、触車事故防止のポイントをまとめるとともに、これまでの事故調査事例から様々な触車事故の発生状況や原因を紹介した、触車事故の防止を目的としたリーフレットを作成しました。



安全啓発リーフレット  
「作業員等の触車事故を防止するために」

令和7年6月には、ダイビング船がさんご礁に乗り揚げ、ダイビングスタッフ及びダイビング客計24人が救助される事態となった乗揚事故（令和6年12月発生）を受けて、ダイビング船の安全運航に資するよう、乗揚事故の事例とその防止策を多くの方にお知らせするためのリーフレットを作成しました。

また、事故の再発防止・啓発に向け、具体的なテーマに沿って皆様のお役に立てていただくことを目的として、各種統計に基づく分析や典型的又は特に注意を要する事件事例等を掲載した「運輸安全委員会ダイジェスト」及び、海外向け情報発信の充実に向けた「JTSB Digests（運輸安全委員会ダイジェスト英語版）」も発行しています。



安全啓発リーフレット  
「ダイビング船の  
安全運航のために」

【安全啓発リーフレット】



<https://jtsb.mlit.go.jp/keihatuleaflet.html>

【運輸安全委員会ダイジェストバックナンバー】



[https://jtsb.mlit.go.jp/bunseki-kankoubutu/jtsbdigests/jtsbdi\\_backnumber.html](https://jtsb.mlit.go.jp/bunseki-kankoubutu/jtsbdigests/jtsbdi_backnumber.html)

#### 4 運輸安全委員会年報の発行

令和6年の活動全般を紹介して、事故の教訓を基に広く事故等防止を図るため、令和7年3月に「運輸安全委員会年報 2025」を発行しました。

また、海外に向けた情報発信への取組の一環として、同年報に記載のトピックを海外の方々にご紹介いただくため、令和7年12月、英語版年報「JAPAN TRANSPORT SAFETY BOARD ANNUAL REPORT 2025」を発行しました。



【運輸安全委員会年報】



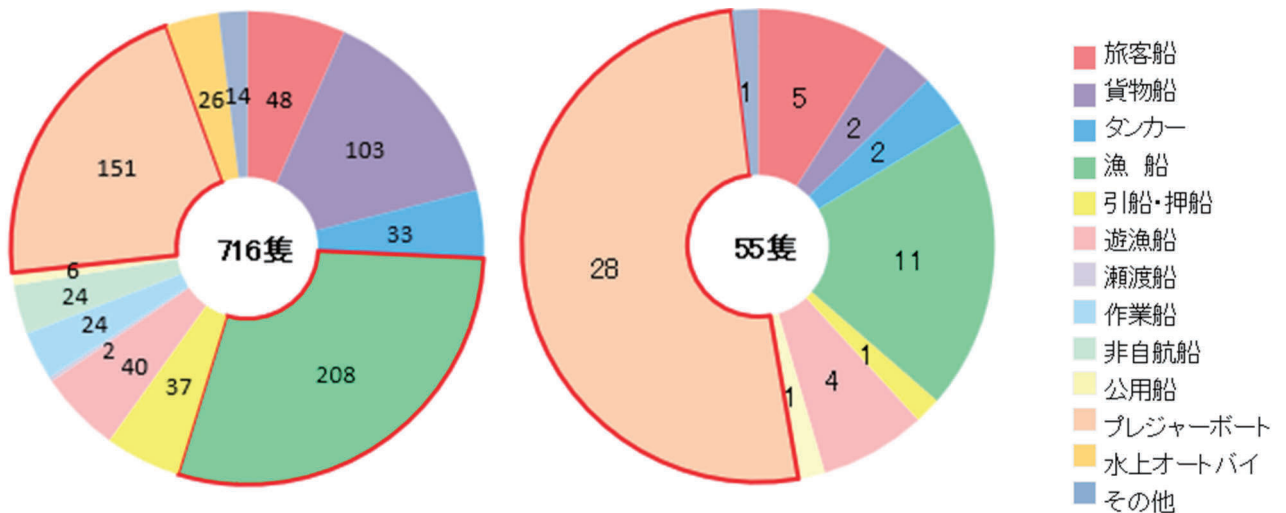
[https://jtsb.mlit.go.jp/bunseki-kankoubutu/jtsbannualreport/jtsbannualreport\\_new.html](https://jtsb.mlit.go.jp/bunseki-kankoubutu/jtsbannualreport/jtsbannualreport_new.html)

## 5 船舶事故防止に向けた情報発信

令和7年に発生して当委員会の調査対象となった船舶事故に関係した船舶の隻数を船種別にみると、最も多い漁船が208隻(29.1%)と、次に多いプレジャーボートの151隻(21.1%)とあわせて、2船種で全体の半数以上を占めています。

次に、令和7年に発生した船舶インシデントに関係した船舶の隻数を船種別に見ると、最も多いプレジャーボートが28隻(50.9%)と、全体の半数以上を占めています。

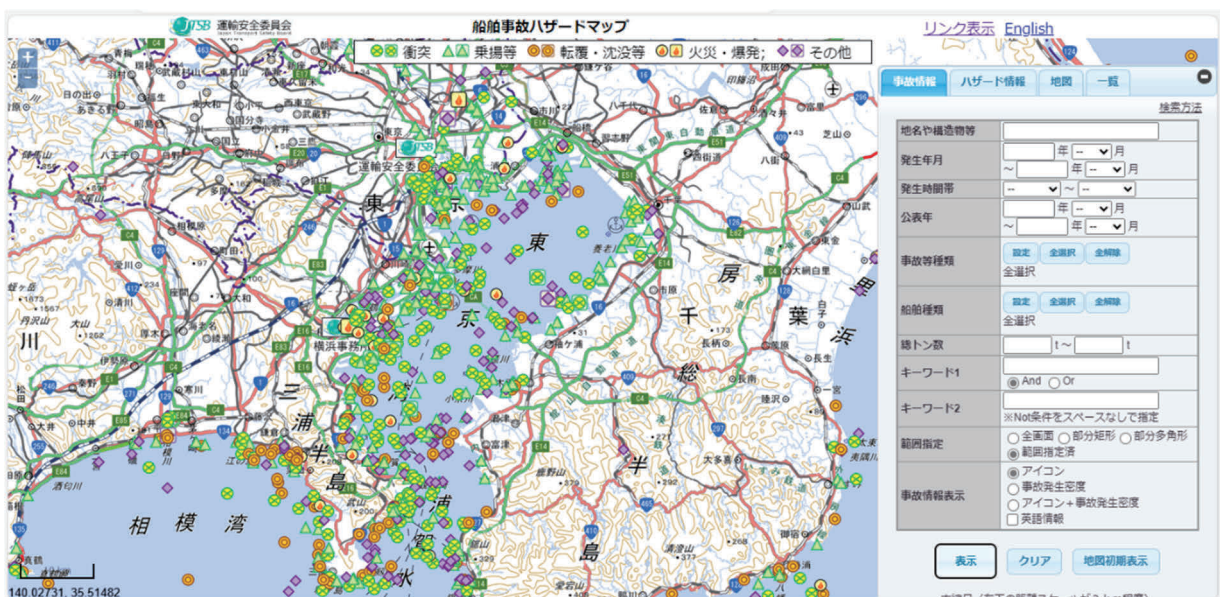
令和7年に発生した船舶事故等に関係した船舶の隻数（左：事故、右：インシデント）



### ① 船舶事故ハザードマップ

当委員会では、これまでに公表した事故等調査報告書から、どこでどのような事故等が発生しているのかを視覚的に確認することができるよう、事故発生位置、事故種別及び事故概要等を抽出し、地図上で検索・表示できるようにした「船舶事故ハザードマップ」を公開しております。

【船舶事故ハザードマップ】ホームページ画面からの検索・表示画面例



また、「船舶ハザードマップ」は、ホームページ版だけでなく、運航者の皆様が現場で使いやすいように、モバイル版も運用しています。モバイル版船舶事故ハザードマップでは、タッチ

パネルに対応した表示ボタンやレイアウトに変更して操作性を向上させ、モバイル端末の GPS 機能を利用して現在地付近の情報を表示することができるようになっており、プレジャーボートや遊漁船など小型船舶のユーザーに、航行しようとする海域の事故情報や航行の参考となる情報を簡単に確認していただけるようになっています。

【モバイル版船舶事故ハザードマップ】周知リーフレット・表示画面例



## ② 機関故障検索システム

令和7年に発生して当委員会の調査対象となった船舶事故のうち、総トン数20トン以上の中型・大型船での事故数を船種別でみると貨物船が103隻（48%）と最も多く、次いでタンカーが35隻（16%）となり、2船種で全体の約6割を占めています。

事故種別をみると、衝突が119件（55%）と最も多く、次に乗揚が45件（21%）となっており、衝突と乗揚で全体の約8割を占めています。

また、総トン数20トン以上の中型・大型船では、機関整備不良や電源喪失などに伴うインシデントが年間10件となっています。運航不能などのインシデントは、往々にして、重大な二次災害を引き起こす要因ともなりますので、上記の事故と併せ、インシデントの再発防止・未然防止を図ることも重要です。

そのため、総トン数20トン以上の中型・大型船における事故等の防止に向け、「機関故障検索システム（ETSS：Engine Trouble Search System）」を公開しています。

機関故障検索システムは、海事関係者から、機関故障部位・部品に起因する事故等について、その関連する事故等調査報告書を検索・活用したいとの要望があったため、平成31年4月から当委員会で構築・運用しているものであり、ウェブ画面上から機関部位・部品で検索することにより、容易に目的とする事故等調査報告書を閲覧できます。





## ③ プレジャーボートの安全運航のために

令和7年に発生して当委員会の調査対象となった船舶事故等のうち、プレジャーボートについては、衝突や乗揚といった事故に占める割合が2割強であるのに対し、運航不能や運航障害といったインシデントでは割合が5割以上と大きな割合を占めています。このため、同種事故の再発防止・未然防止に資することを目的とし、発航前点検・保守整備及び見張り手法のポイントや海域ごとの注意喚起情報などを盛り込んだコンテンツ「プレジャーボートの安全運航のために」をバナー掲示でホームページ上に常時公開しており、ダイジェスト・地方版分析集・安全啓発リーフレットなどの出版物及びハザードマップなどウェブ検索システムの更新とも併せ、安全啓発に関する情報発信の強化に取り組んでいます。

## 「プレジャーボートの安全運航のために」のページ



※ ここで紹介した船舶事故ハザードマップ等は、いずれも無料でご利用いただけます。(通信料はかかります。)

## 【船舶事故ハザードマップ】



<https://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/>

## 【運輸安全委員会-機関故障検索システム】



<https://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/etss/>

## 【運輸安全委員会-小型船舶機関故障検索システム】



[https://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/s\\_etss/](https://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/s_etss/)

## 【プレジャーボートの安全運航のために】



<https://jtsb.mlit.go.jp/guide/pleasure.html>

## 6 航空事故防止に関する情報をまとめた特集ページ ～超軽量動力機等の安全な飛行のために～

令和7年3月25日、当委員会のホームページに公開している超軽量動力機、ジャイロプレーン及び自作航空機の事故防止に関する情報をとりまとめた特集ページ「超軽量動力機等の安全な飛行のために」の内容を更新しました。

令和6年までに公表した調査報告書の分析結果など、最新の情報を追加しています。

なお、超軽量動力機等とは、スカイレジャーとして普及している簡易な構造の航空機で、平成13年から令和6年までに、59件の事故が発生しており、その被害状況は、死亡者や重傷者を伴う事故が全体の80%、機体が大破又は中破した事故が全体の86%を占めています。この割合は、小型飛行機やヘリコプターと比較して高くなっており、事故が重大な結果に繋がりやすいことを示しています。

事故防止のためには、その原因となっている事態を避けるため、原因の背後にある要因（安全リスク）に着目して、リスク低減を図ることが効果的です。このため本特集ページでは、調査報告書を分析した結果から得られた事故の発生に関与した主要な要因（不適切な操縦、気象（風）の影響、知識・技量・経験不足、機体・部品の不具合とその基となる不適切な点検・整備と不適切な組み立てなど）をとりあげ、安全のためのポイントを事件事例とともに紹介しています。

なお、本特集ページは今後も随時情報を更新していきます。飛行を安全に楽しむための参考としてご活用ください。

**被害の発生状況**

○ここからは、2024年12月31日現在で報告書が公表済みの事故59件を分析します。

- 超軽量動力機等の事故は重大な被害を伴います。
- 死亡／重傷事故が59件中47件（80%）  
死亡者が16件（27%）、重傷者が31件（53%）の事故で発生している、合わせて59件中47件と、全体の約8割を占めています。

**死傷者の発生状況**

被害状況	件数	割合
死亡	16件	27%
重傷	31件	53%
軽傷	4件	7%

○大破／中破事故が59件中51件（86%）  
大破が42件（71%）、中破が9件（15%）の事故で発生している、合わせて59件中51件で、全体の約9割を占めています。

**機体損壊の発生状況**

損壊状況	件数	割合
大破	42件	71%
中破	9件	15%
軽破	5件	8%
不明	2件	3%
軽破	1件	2%

特集ページのバナーと内容の一部

【超軽量動力機等の安全な飛行のために】



<https://jtsb.mlit.go.jp/guide/microlight.html>

## 7 鉄道事故防止に関する情報をまとめた特集ページ

### ① 踏切事故を起こさないために

令和7年5月、当委員会のホームページに公開している踏切事故防止に関する情報をとりまとめたページ「踏切事故を起こさないために」の内容を更新しました。



「踏切事故を起こさないために」のページ

令和6年までに公表した調査報告書の分析結果など、最新の情報を追加しています。

踏切事故は、鉄道運転事故の全体のうち38%と大きな割合を占めており（令和5年度）、なかでも踏切遮断機の設置されていない踏切道（第3種踏切道及び第4種踏切道）は、踏切保安設備（踏切遮断機、踏切警報機）が整備されている踏切道（第1種踏切道）に比べて事故の危険性が高いことから、踏切横断時のルールの遵守のほか、これらの踏切道の廃止や踏切保安設備の整備（いわゆる「第1種踏切道への格上げ」）等の対策が重要です。

こうした対策を進めるには、利用者をはじめ多くの方々の理解が必要であるため、踏切の利用者向けに、「とまれ、みよ、きけ」などの踏切横断ルールの遵守を呼びかけています。また、鉄道事業者、道路管理者等の関係者向けには、事故防止に向けた対策や協議を進める上で参考にもらえるよう踏切廃止等の取組事例を掲載していますので、踏切事故を減らすための参考としてご活用ください。

### ② 作業員等の触車事故を防止するために

令和7年6月、当委員会のホームページ上に、触車事故防止に関する情報をとりまとめたページ「作業員等の触車事故を防止するために」を開設しました。

作業員等が亡くなる触車事故は、運輸安全委員会発足（平成20年10月）から令和6年までに、9件発生しております。過去の触車事故では、作業工程変更後に再打合せしない、左右の指差確認をせずに線路へ立ち入るなど、触車事故防止のための遵守事項や社内規程が守られていない、又は触車事故防止教育が徹底されていないことが原因となっています。

このため本特集ページでは、触車事故の防止を目的として、触車事故防止のポイントをまとめるとともに、これまでの事故調査事例等から様々な触車事故の発生状況や原



「作業員等の触車事故を防止するために」のページ

因を紹介しています。鉄道事業者におかれては、作業時の安全対策を進める上での参考としてご活用ください。



【踏切事故を起こさないために】

<https://jtsb.mlit.go.jp/guide/fumikiri.html>



【作業員等の触車事故を防止するために】

<https://jtsb.mlit.go.jp/guide/shokusha.html>

### 8 出前講座（講習会等への講師派遣）

当委員会では、私たちの行っている業務についてもっと知っていただくとともに、皆様のご意見やナマの声を聞かせていただく場として「出前講座」を行っています。講座の内容は、航空・鉄道・船舶の事故等の防止、被害の軽減に役立てていただくお話で、各種講演会や学校等へ職員を講師として派遣、あるいはリモートでも実施しています。

講演の内容は、依頼元の団体を選んでいただいた講座を基に、受講者のニーズに合わせた内容を盛り込むなど柔軟に対応しています。令和7年は地方事務所も含め、計25件の出前講座を実施しました。



出前講座の様子

出前講座一覧

No.	講座名	主な対象	講座内容
1	運輸安全委員会について	一般(高校生以上) 運輸関係事業者等	運輸安全委員会の組織経緯、業務などについてわかりやすく説明します。
2	事故調査って何だろう？	小学生以上	小学生以上の子供に「事故調査」についてわかりやすく説明します。
3	航空事故調査について	一般(高校生以上) 航空関係事業者等	航空事故調査について、その経緯や具体例などを交えて説明します。
4	鉄道事故調査について	一般(高校生以上) 鉄道関係事業者等	鉄道事故調査について、その経緯や具体例などを交えて説明します。
5	船舶事故調査について	一般(高校生以上) 海事関係事業者等	船舶事故調査について、その経緯や具体例などを交えて説明します。
6	船舶事故調査(火災、爆発、機関故障)について	一般(高校生以上) 海事関係事業者等	火災、爆発、機関故障に関する船舶事故調査について、その経緯や具体例、対策などを交えて説明します。
7	運輸安全委員会ダイジェストについて	一般(高校生以上) 運輸関係事業者等	これまでに発行した運輸安全委員会ダイジェストをもとに、各モード横断的に事故等事例紹介や各種統計資料についての解説を行います。
8	運輸安全委員会ダイジェスト(航空事故分析集)について	一般(高校生以上) 航空関係事業者等	運輸安全委員会ダイジェストにおいて、航空事故分析集として扱った各テーマについて解説を行います。
9	運輸安全委員会ダイジェスト(鉄道事故分析集)について	一般(高校生以上) 鉄道関係事業者等	運輸安全委員会ダイジェストにおいて、鉄道事故分析集として扱った各テーマについて解説を行います。
10	運輸安全委員会ダイジェスト(船舶事故分析集)について	一般(高校生以上) 海事関係事業者等	運輸安全委員会ダイジェストにおいて、船舶事故分析集として扱った各テーマについて解説を行います。
11	船舶事故発生の傾向と再発防止について	一般(高校生以上) 海事関係事業者等	「船舶事故ハザードマップ」を用いて、船舶事故の多発する海域やリスクについて図解し、事故防止対策について説明します。
12	地方事務所の分析集(船舶事故関係)について [函館、仙台、横浜、神戸、広島、門司、長崎、那覇の各地方事務所]	一般(高校生以上) 海事関係事業者等	地方事務所の分析集について、各テーマの解説を行います。 ※リストは以下のリンクからご確認いただけます。 <a href="https://jtsb.mlit.go.jp/bunseki-kankoubutu/localanalysis/localanalysis_new.html">https://jtsb.mlit.go.jp/bunseki-kankoubutu/localanalysis/localanalysis_new.html</a>

※No.12は、原則、地方事務所の管轄区域のご依頼に限らせていただきます。

お申し込みから講演実施までのフローチャート



【出前講座】



以下のリンクから、出前講座一覧や出前講座への申し込み方法などをご確認いただけます。

<https://jtsb.mlit.go.jp/demaekouza.html>

## 9 事故被害者情報連絡室の活動状況等について

当委員会では、事故の被害者やそのご家族、ご遺族の心情に十分配慮し、事故調査に関する情報を適時適切に提供するとともに、ご意見などに丁寧に対応することを目的に、平成23年4月、被害者等への事故調査情報提供窓口を設置し、さらに情報提供を推進するため、平成24年4月に、訓令上の組織として「事故被害者情報連絡室」を設置し、地方事務所にも情報提供窓口を置き、事務局で一体的に対応しています。

令和7年は、航空・鉄道・船舶事故14件の被害者等53名の方へ事故調査等の情報提供を行いました。

事故被害者情報連絡室では、情報提供を推進するため、事故被害者等の皆様へ「連絡先伝達カード」をお渡ししております。

事故の被害者及びそのご家族・ご遺族の皆様からの事故調査に関するお気づきの点などについて、お話を伺っておりますので、下記連絡先までお気軽にご連絡を頂けましたら幸いです。

<連絡先伝達カード>

(表面)

(裏面)

事故に遭われた方々への  
情報提供を行っています。

運輸安全委員会事務局  
事故被害者情報連絡室

Japan Transport Safety Board

運輸安全委員会事務局 事故被害者情報連絡室

電話：03-5367-5030（直通）

メール：hqt-jtsb-faminfo2021@gxb.mlit.go.jp

住所：〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1

四谷タワー15階

函館事務所：0138-43-5517 仙台事務所：022-295-7313

横浜事務所：045-201-8396 神戸事務所：078-331-7258

広島事務所：082-251-4603 門司事務所：093-331-3707

長崎事務所：095-821-3537 那覇事務所：098-868-9335

Japan Transport Safety Board

(中面)

運輸安全委員会は、航空、鉄道及び船舶の事故について徹底した調査を行ってその原因を究明する国の機関です。

調査の結果は、報告書として公表し、また、事故の再発防止及び事故による被害の軽減に必要な措置を関係者に求めていくこととしております。

これらの調査は、事故の責任などを問うことを目的としたものではありません。

当委員会では、不幸にも事故に遭われた方々及びそのご家族に対しまして、事故調査の進捗状況、調査で明らかになった事実などの情報を提供しております。

事故調査についてお気づきの点やご要望がありましたら、裏面の窓口まで遠慮なくご連絡ください。

運輸安全委員会ホームページ  
<https://jtsb.mlit.go.jp/>

## 10 公式 SNS、メールマガジンを通じた情報発信

運輸安全委員会の公式Xでは、事故等発生時の調査官の派遣、調査報告書や安全啓発資料の公表、委員長会見の概要といった運輸安全委員会の最新の活動を随時投稿しています。

また、ホームページの登録フォームから登録していただいた方々に毎月1回、テキスト形式で最新の活動内容をお知らせする「運輸安全委員会メールマガジン」の配信も行っています。

公式Xのフォロー、メールマガジンの登録をお願いいたします。

### 運輸安全委員会公式 X



運輸安全委員会 @JTSB\_unyuanzen · 4月30日  
 #運輸安全委員会 委員長記者会見（4月22日）の要旨をHPに掲載！  
 李家委員長の就任後初の会見です。  
 ・新たな調査対象 #航空事故 4件、#航空重大インシデント 3件、#鉄道事故 2件  
 ・安全啓発資料「駿河湾&相模湾ハザードマップから見るプレジャーボート関連事故」の公表  
[jtsb.mlit.go.jp/kaiken/kaiken2...](https://jtsb.mlit.go.jp/kaiken/kaiken2...)



運輸安全委員会 @JTSB\_unyuanzen · 5月29日  
 #運輸安全委員会（那覇事務所）は、ダイビング船の転覆事故防止に向けたリーフレットを昨年9月に続き公表しました。  
 ポイントは、①航行中のスカッパ（排水口）の閉鎖、②船内に滞留する海水の速やかな排水、③救命胴衣の着用です。是非ご覧ください！  
[jtsb.mlit.go.jp/bunseki-kankou...](https://jtsb.mlit.go.jp/bunseki-kankou...)  
 #安全啓発



運輸安全委員会 @JTSB\_unyuanzen · 2024年9月26日  
 #運輸安全委員会 は、ダイビング船の事故事例と安全運航にあたって注意すべきポイントをまとめたリーフレットを公表しました。Xでは内容を動画付きで紹介しませう！是非ご覧ください。  
 #JTSB...

運輸安全委員会 @JTSB\_unyuanzen · 10月10日  
 10月14日は #鉄道の日！  
 明治5(1872)年に日本で最初の鉄道が開通した日です。  
 #運輸安全委員会 HPでは、#鉄道事故の防止に向けた #安全啓発 資料を掲載しています。  
 是非ご覧ください。

踏切事故を起こさないために  
[jtsb.mlit.go.jp/guide/fumikiri...](https://jtsb.mlit.go.jp/guide/fumikiri...)  
 運輸安全委員会ダイジェスト  
[jtsb.mlit.go.jp/bunseki-kankou...](https://jtsb.mlit.go.jp/bunseki-kankou...)



【運輸安全委員会メールマガジン】

<https://jtsb.mlit.go.jp/haisin.html>



【運輸安全委員会公式 X】

[https://x.com/JTSB\\_unyuanzen](https://x.com/JTSB_unyuanzen)